

南信州広域連合第4回広域連合会議 結果報告

日時：令和7年7月17日(木) 14:30～15:15

場所：飯田合同庁舎 講堂

【出席者】14市町村長、副管理者

〔長野県建設部リニア整備推進局〕室賀局長
〔JR東海中央新幹線長野工事事務所〕小池所長
〔南信州地域振興局〕岩下局長
〔飯田建設事務所〕折井所長
〔飯田保健福祉事務所〕岩本所長
〔下伊那郡町村会事務局〕岡庭局長
〔南信州・飯田産業センター〕小室事務局長
〔飯田広域消防〕下平消防長、新井消防次長兼総務課専門幹、熊谷消防次長兼総務課長
〔環境センター〕松下事務長
〔事務局〕吉川事務局長・滝沢事務局次長兼総務課長
乾地域医療福祉連携課長兼医療福祉連携係長・壬生広域振興係長
渡邊広域振興係企画調整担当専門主査・熊谷庶務係長・幾島庶務係主事・久保田庶務係主事

1 開会…15:00

2 広域連合長挨拶

7月13日に南信州の民俗芸能を代表して、高森町の大島山瑠璃寺の獅子舞、阿南町和合の念仏踊り、飯田市木沢の霜月まつりが大阪・関西万博で披露され、非常に好評を博したとお聞きをしている。報道でもご覧になったと思うが、準備期間が短く日程も非常にタイトな中でそれぞれの団体の皆さんに演じてきていただいた。関係者の皆さんに感謝申し上げます。今日少し映像もあるので皆さんと雰囲気共有したい。

3 協議・報告事項

(1) リニア中央新幹線について

ア 県リニア整備推進局から【長野県リニア整備推進局 室賀局長】～資料No.1～各市町村の進捗状況の説明を行う。

今後の予定としては、7月中に地域再生計画に関する4県の担当者会議を実施する。時期は現在調整中だが、8月中にリニア中央新幹線建設促進長野県協議会総会を開催予定。リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議を9月頃に開催する予定。

イ JR東海中央新幹線長野県駅工事事務所から（小池所長）

大鹿村について、小渋川橋梁工事説明会を6月18日に実施し当該橋梁の工事概要などを説明。7月2日に大鹿村リニア連絡協議会において、村内の工事の進捗状況や工事用車両の運行台数の実績、環境測定の結果について説明を行った。

飯田市について、6月23日に下久堅の発生土置き場における河川工事と今後の見通

しに関する説明会を行い、今後実施する河川改修の工事概要と、工事に伴う道路通行規制及び盛土条例の変更申請について説明。6月9日から土曾川橋りょうP1橋脚へ要対策土の活用、運搬、搬入を進めていたが、7月7日に工事が完了した。現在は、要対策土が入っているところの上にコンクリートの蓋がしてあるような状態になっている。

飯田ケーブルテレビ制作の「教えてリニアのリアル！」第15弾を6月23日から29日の1週間放送した。

(2) 産業振興と人材育成の拠点（エス・バード）の管理運営状況について（産業センター）

【南信州・飯田産業センター 小室事務局長】～資料 No.1～

※エス・バードの管理・運営状況について、資料をもとに説明がなされた。

「南信州広域連合産業振興と人材育成の拠点条例」に定める拠点の設置目的に沿って、同条例で指定管理者が行うこととされている業務について、管理業務に携わる従事者を配置し、関係法令及び基本協定書等を遵守して適切に実施した。

令和6年度の利用件数は1,101件で前年度に比べて50件増加し、利用者数は47,725人で前年度に比べて7,296人増加した。

令和6年度のインキュベート室の利用は6室で2室減少したが、市内にオフィスを構え自立したため。

施設使用料収入は26,513千円でインキュベート室が減少したが、前年度並みの収入を確保することができた。

→質疑等なし

(3) 大阪万博への民俗芸能団体の出演について（報告）～資料映像～

※当日の民俗芸能団体の出演の資料映像をもとに説明がなされた。

開催日時：令和7年7月13日(日)13時から17時まで

開催場所：フェスティバルステーション

出演演目：大島山瑠璃寺の獅子舞、阿南町和合の念仏踊り、南信濃木沢の霜月まつり。

当日は用意しておいた250席の椅子がほぼ満席になっていた。1,000人超の来場者の見込み。

当日は3団体の実演だけでなく南信州全体の様々な伝統芸能、民俗芸能を映像紹介した。

(4) 「介護のしごと相談会」開催報告について

【乾地域医療福祉連携課長】～資料 No.2～

開催日時：令和7年6月28日(土) ①10時～12時 ②13時～15時

開催場所：エス・バード

出展内容：介護事業所 21ブース（うち4事業所が障害福祉施設）
協力団体 2ブース

来場者数：15人

相談件数：50件（1人当たり平均相談件数3.3件で過去最高）

今後の予定としては、相談会の事後調査を9月上旬に実施。第2回目の相談会を12月20日に開催予定。

→質疑等なし

- (5) 飯田警察署及び運転免許センターの整備について【吉川事務局長】～資料 No. 3～
飯田警察署及び運転免許センターの整備について資料をもとに説明がなされた。

6月27日に飯田創造館の解体工事の地元説明会が開催された。

3月末に県創造館が閉館。6月より創造館の除却工事開始（年内完了予定）。年明け後、警察署及び免許センターの建築工事を開始し、令和9年8月末に終了予定。新しい警察署の竣工後、道場の解体工事と外構工事を実施し令和10年4月から新しい警察署の運用が開始。

新しい警察署の運用開始後、旧警察署建物の解体工事と外構工事を実施し駐車場として整備（令和11年3月末まで）。

風越公園については1.8haから1.1haに面積が減少するが主な減少区域は緑地部分と搬入路で多目的広場や児童遊戯広場の面積は維持される。駐車場については現在の95台から37台に減少。

→質疑等なし

- (6) 飯田広域消防から【熊谷消防次長兼総務課長】～資料 No. 4～

- (7) 令和7年度飯田・木曽消防指令センター整備事業の進捗状況について。

受注業者

指令システム構築：NEC ネットエスアイ株式会社

建築工事：神稲建設株式会社

電気工事：新井電気工事株式会社

機械工事：株式会社シノダ設備

工事期間は、令和7年6月から整備を開始。改修工事は10月31日終了予定で、その後指令機器の据え付けの調整を行う。改修工事完了後に指令施設の操作訓練を実施し、令和8年2月中旬には仮運用を開始。令和8年4月1日より本運用開始の予定。

- (4) 令和7年上半期「消防統計」の概要について

出火件数は32件で前年同月比7件の減少。

救急出動件数は4,240件で前年同月比193件の増加。

救急出動件数は、49件で前年度比3件の減少。

5月1日から7月14日までの熱中症による救急搬送は52人で、昨年同日比19人の増となっており、65歳以上の高齢者の割合が8割を占め、屋内での発生が多くなっているという状況。

- (ウ) 火災予防啓発の連携に関する協定について

飯田広域消防本部と信州ガス株式会社で火災予防啓発の連携に関わる協定を令和7年7月30日に締結した。住宅防火対策の推進により、住民の安全、安心の確保を目的に、業者と協力して火災予防啓発に取り組むもの。

- (エ) 高森署庁舎新築工事について

7月1日から鉄骨搬入し、鉄骨の建方が開始。

- (オ) 企業版ふるさと納税について

株式会社セイコーアドバンスからの企業版ふるさと納税について令和7年6月

30日に本件を見送りたいとの申し出があった。

(7) その他

(ア) 南信州いいむす 21 登録判定【壬生広域振興係長】～資料 No. 5～
更新 3 件

【南信州広域連合事務局地域医療福祉連携課 (97pt ★×10)】 更新

【飯田環境センター (74pt ★×8)】 更新

→異議なし。承認となる

(イ) 後援依頼について【熊谷庶務係長】～資料 No. 6～

事業名：第 51 階全日本天竜川カヌー競技大会

開催日時：令和 7 年 8 月 24 日(日)午前 8 時～午後 3 時

開催場所：天竜川万年橋付近から弁天港付近

趣 旨：「カヌーのまちづくり事業」として、川に親しむ事業を通じた関係づくりを目指すもの。

主 催：長野県カヌー協会、長野県高森町

事業名：第 3 回認知症予防寄席

開催日時：令和 7 年 10 月 13 日(月)午後 2 時～午後 4 時

開催場所：鼎文化センター ホール

趣 旨：認知症問題を多くの方に広めて予防法の一つの脳トレの体験を参加型で紹介する。

主 催：多目的スタジオ 泰平

→異議なし。承認となる。

(ウ) 南信州広域連合の現況について

南信州広域連合の概況を配布。

4 長野県

(1) 南信州地域振興局【岩下局長】

「信州未来共創戦略を進めるための県民会議」について、資料をもとに説明がなされた。昨年は、全体会議を長野市、上田市で実施。今後各地域でも取り組みを進めてくため、キャラバンとして各地域を巡る県民会議を開く。7月の初旬に北アルプス地域でまず第 1 回目を開催し、8月4日に第 2 回目を飯田市内で開く。現在、この県民会議の登録数は団体で 66 団体、個人で 78 名。市町村関係では、県の市長会や町村会が参加のほかに個別の市町村でも、上田市や木祖村などが参加している。

(2) 飯田建設事務所【新井所長】

来週、再来週と長野県水砂防協会、長野県河川協会の総会が長野市で開催される。

(3) 飯田保健福祉事務所【岩本所長】

前回阿智村長から質問があった医療確保事業におけるタスクシフト等の推進事業の拡大について回答。

タスクシフト事業については、医師以外の例えば事務職や薬剤師、検査技師といった人のタスクシフトをするための講習会ないしは研修会の費用を負担するという事業のことをいう。拡大については令和6年この事業の利用が1件あったが、自費で賄えたということで支出がなかった。もっと使い勝手を良くするというので、申請する団体を薬剤師会や検査技師会に加えて、今年から7つの病院についてもそういった研修をした時のお支払いの対象にすること。対象の団体には飯田市立病院も入っている。7つの団体を加えたということ、令和6年度97万5,000円の予算を今年度は325万円ということにしたということが拡大という意味。

- 5 当面の日程について
8月18日（月） 広域連合会議 県合庁 301号会議室
- 6 その他
- 7 閉会…15：15